

報道関係者各位

株式会社BCN

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-18-14本郷ダイヤビル6F

TEL 03-4236-5200 FAX 03-3818-3006

本件に関するお問い合わせは下記にお願いします。

BCN 田中繁廣

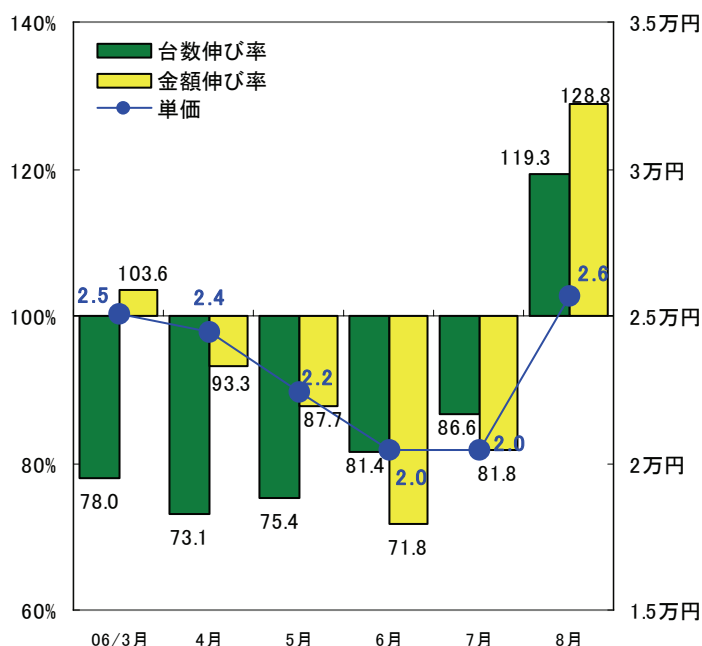
<http://ranking.computernews.com/>

■自作PC市場、急回復へ

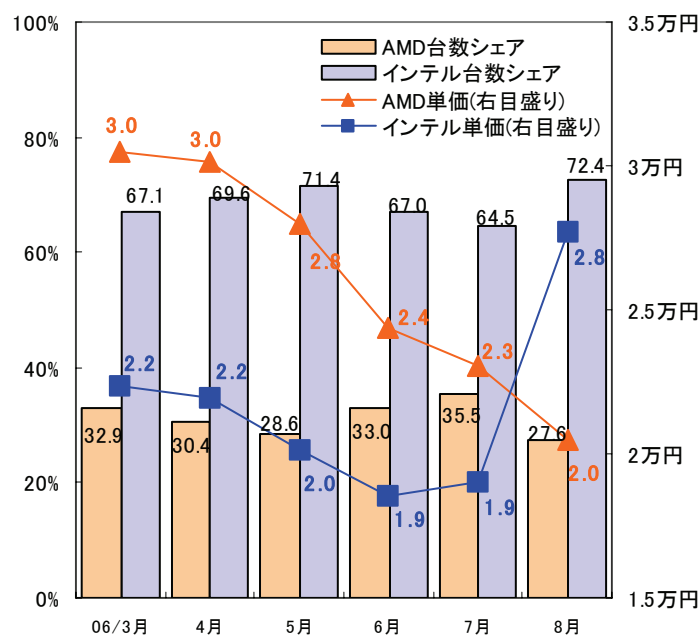
■インテルの新CPU「Core 2」がけん引、相乗効果でマザーボードも2ケタの伸び

株式会社BCN(本社:東京都文京区、代表取締役社長 奥田喜久男)は、BCNランキングデータをもとに「CPU」の販売動向を集計(12社データ使用)。この結果、インテルの最新CPU「Core 2」が爆発的に立ち上がり、マザーボード需要も一気に好転する相乗効果が現れていることが分かった。停滞気味で推移してきた自作PC市場は、「Core 2」が推進力となって一気に加熱しはじめている。

図表1 CPUの伸び率と単価



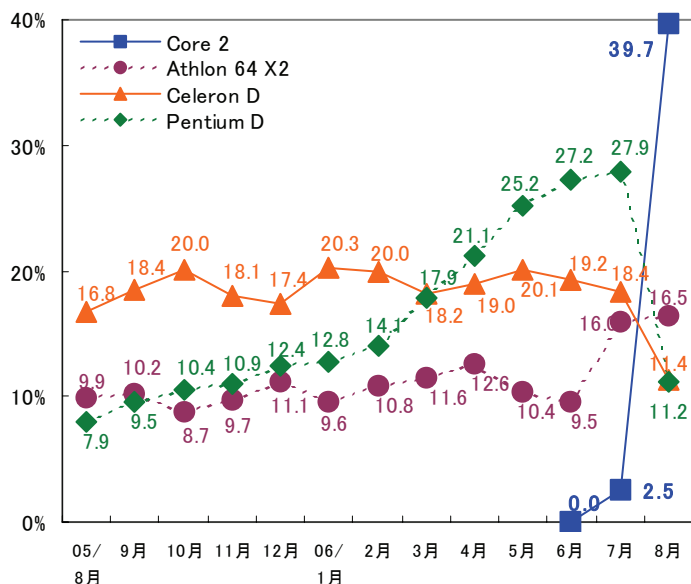
図表1 CPUメーカー別台数シェアと単価



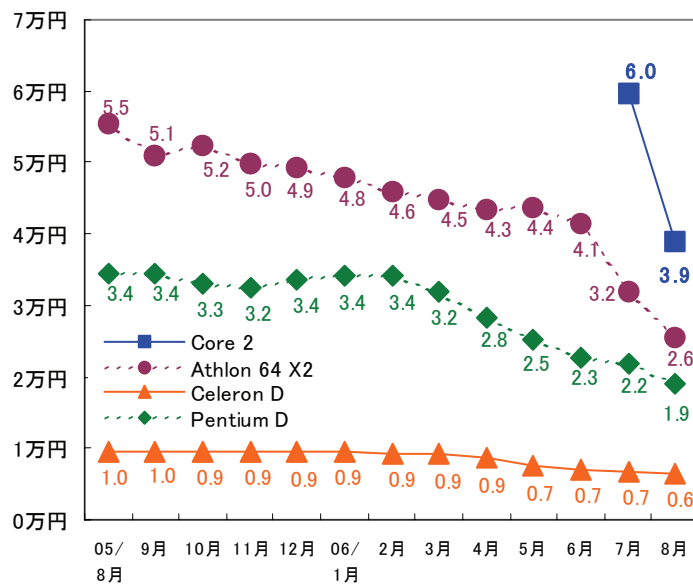
●「Core 2 Duo」(7製品)とフラッグシップの「Core 2 Extreme X6800」を加えた「Core 2」シリーズの販売が本格化した8月、CPU市場は一気に活気づいた。前年同月比で台数、金額とも2ケタ増へと急回復、平均単価も2.6万円と上昇した(図表1)。メーカー別の単価をみると、インテルの全CPUの平均が8月は2.8万円と上昇、一方のAMDは2.0万円と下げており、差は開いた。インテルの単価アップは「Core 2」によるものだが、立ち上げ初期だけに供給不足が指摘されている。品薄解消がすすめば、市場を席卷する可能性は高い(図表2)。

BCNは、全国のパソコン専門店、家電販売店22社(アマゾン ジャパン、アロシステム、エイデン、大塚商会、ギガスケーズデンキ、グッドウィル、サクセス、さくらや、上新電機、ストリーム、ソフマップ、ZOA、九十九電機、T・ZONEストラテジィ、デオデオ、100満ボルト、ビックカメラ、ピーシーデポコーポレーション、ベスト電器、ミドリ電化、ムラウチ、ラオックス=50音順)2286店舗(2006年7月末現在)の毎日配信データをデイリーで収集し配信するBCNランキングを公表しています。このデータをもとに、PCリテール市場の動向を分析したニュース配信を行っています。

図表3 CPU主カアイテムの台数シェア

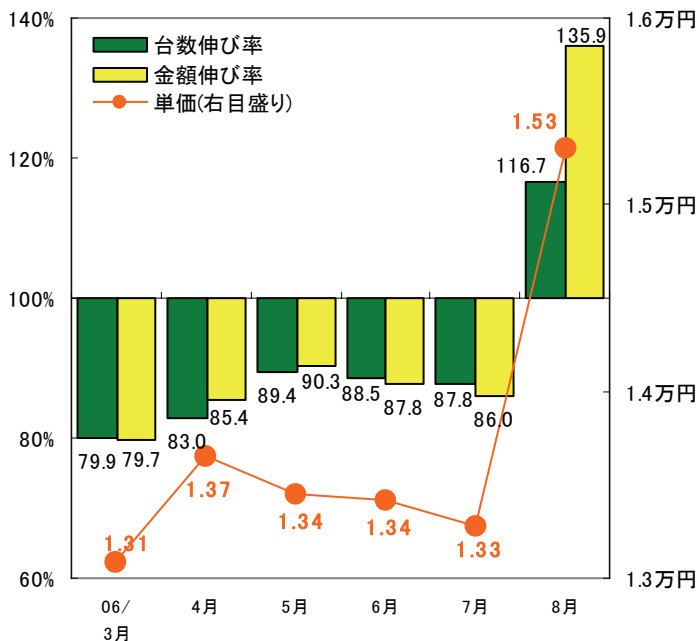


図表4 CPU主カアイテムの単価

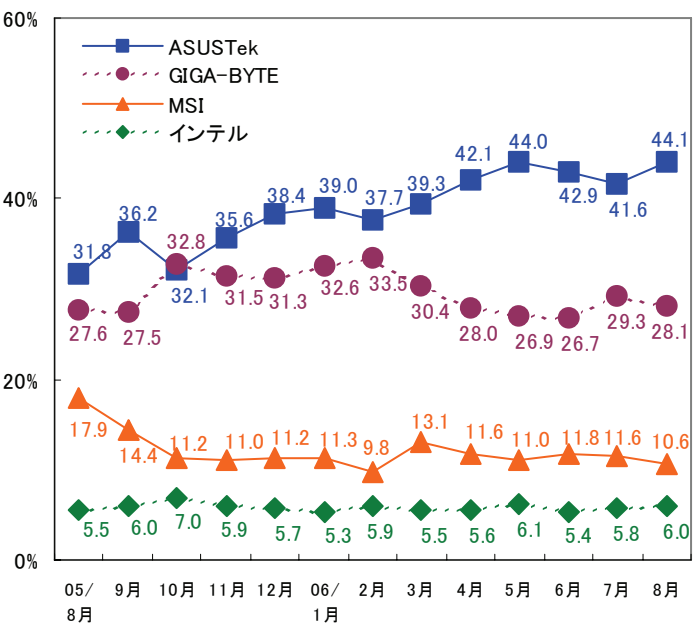


●本格販売が始まった「Core 2」の売れ行きはすさまじい。7月のアイテム別台数シェアはわずか2.5%であったが、8月は一気に上昇し40%に迫る展開となった(図表3)。7月の「Core 2」の平均単価は6.0万円、8月は単価が12万円を超える最上位の「Core 2 Extreme X6800」の弾不足で3.9万円と下げたが、廉価なPC本体にほぼ匹敵する価格帯にもかかわらず、パワーユーザーからの引き合いは強い(図表4)。

図表5 マザーボードの伸び率と単価



図表6 マザーボードメーカー別台数シェア



●CPUの需要増と連動して、マザーボードの売れ行きも一気に増大した。年明け以降、前年同月を下回る厳しい状況にあったが、8月は劇的に好転し台数、金額とも2ケタ増となった。単価も上昇し、「Core 2」効果がマザーボードにも現れている(図表5)。メーカー別では8月にASUSTekがシェアを小幅高めたが、インテルのシェアに変化はない。「Core 2」とサードパーティ製マザーの組み合わせが主流となっている(図表6)。

本リリースについて、今後メールでの配信をご希望の方がいらっしゃれば、対応させていただきます。  
お名前・会社名をメールにてお知らせ下さい。

お問い合わせ先: release@bcn.co.jp